

よもやま字園

てんもんび

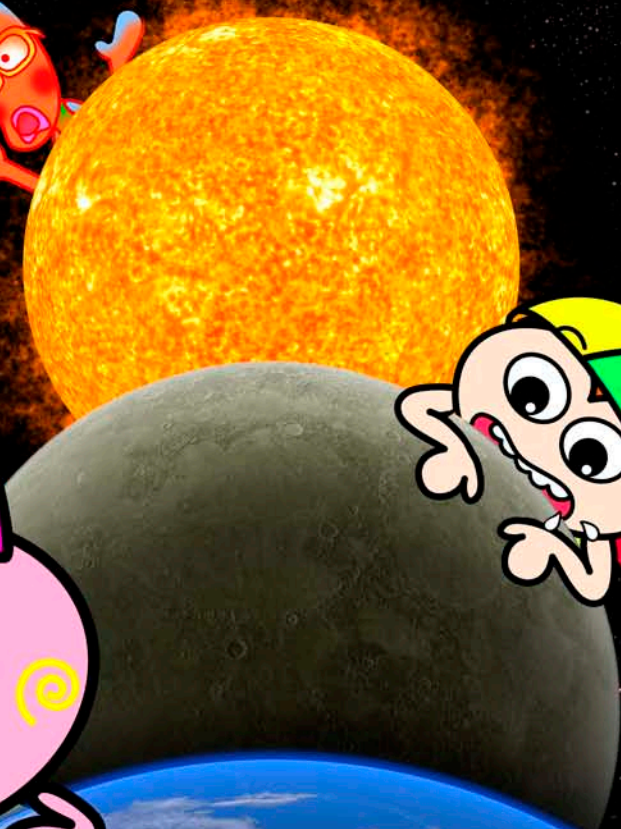
天文部

ちきゅう つき たいよう みちか てんたい
地球・月・太陽、身近な天体たち

よもやまがたる君



わからんちゃん



ほんまがいな君





ちきゅう つき たいよう みちが こんたい
地球・月・太陽、身近な天体たち

よもやま学園天文部の3人が、いつもの丘で星見会の打ち合わせをしています。

「さ、今日もたんとと星見会しましょうか?」と、部長のよもやまかたる君。

「まだ夕方なんですけど〜。」と、部員のわからんちゃん。さて、今夜は何について語り合うのでしょうか?

(約23分)

★ 地球・月・太陽 その大きさと距離

地球と月と太陽。この私たちに身近な天体について、かたる君が話を切り出しますが、かいな君とらんちゃんは少しつまらなさそう。

「そんなこともう知ってるよ!」という雰囲気です。でも本当に理解しているのでしょうか? 地球と月と太陽を、小さい順に並べるのは簡単そうです。ちょっと詳しい人なら、その大きさ比較もだいたいできるでしょう。・・・でも、それぞれがどのくらい離れているのか? ということになるとうと知らぬ人は多いはず。ということで、かたる君がちょっと変わった方法で解説し始めますが、その方法とは?



★ 地球の自転と一日の天体の動き

かいな君は地球から空を観測しています。らんちゃんは宇宙に飛び出して地球全体を観測しています。そしてかたる君が時間を1日ぶん進めてみます。いつもと視点を変えてみるだけで、今まで分かりにくかったことが分かりやすくなる。そんな方法をよもやま学園天文部の3人がチームプレイでやりとげます。

朝・昼・夜のしくみや、北極星を中心とした北の空の様子まで、理解するというより見て納得という感じ。



★ 月の満ち欠け

お月様は太ったりやせたりしますよね。1ヶ月近くかけて形を変えてゆく月。そのしくみを調べるために、毎日同じ時間に月を観測して記録を取っても、ちょっと分かりづらいものがあります。

そこでかいな君たちは、1ヶ月以上続けて月を観測することにしました。

時の神様になったかたる君が、時間を早送りしてくれます。

月と地球の動きを1ヶ月ぶん、じーっと見つめてみてください。

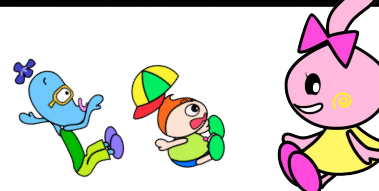
実は月の満ち欠けのしくみはとっても簡単なんです。



★ 春・夏・秋・冬 季節はなぜ移り変わる?

かたる君はらんちゃんに、今度は地球からず〜っと離れて、太陽のまわりをまわる地球を観測するように言います。1年ぶんの時間を早送りするかたる君。今まで以上に早く回転する空。地上から観測するかいな君は、空の動きがあまりに早いので、カメラで撮影することにします。その結果分かったことは?

宇宙について、いつもと視点を変えて物事を見ることの大切さを感じた3人。彼らはいったい何者なのでしょう。なぜはなぜのまま、夜はふけていくのでした。



※本コンテンツで工夫したところ

1. 地球上と宇宙空間。この2つの視点から天体の動きを見ることで理解を深めています。
2. 天体の運動を途中省略せず、連続して見ることで理解を助けています。

脚本・演出・サウンド編集・選曲：鷲巢 亘 イラスト・キャラクターデザイン・アニメーション：塚田洋子 作画・編集：福留政彦 CG：藤井 昇